

A case of SFA CTO treated with side hole sheath and transvenous IVUS

Kofu-Kyoritsu Hospital, Japan

Naoki Koike

症例は 65 歳男性、既往は高血圧。20××年 4 月中旬より労作時の下肢疼痛を自覚、右 ABI は 0.59 と低下しており、AOG 施行したところ右浅大腿動脈起始部からの完全閉塞を認めた。分岐部は No stamp でガイドワイヤー通過に困難が予想されたため Side-hole を作成した 6Fr sheath を右深大腿動脈に挿入、8Fr sheath を右大腿静脈に挿入し経大腿静脈的に挿入した IVUS ガイド下に Multipurpose 5Fr と Naveed 4 hard で病変通過に成功した。Smart stent を計 3 本留置し手技を終了した。今回右浅大腿動脈起始部からの CTO 病変に対し side-hole sheath と経静脈的 IVUS を併用し有用であった症例を経験したため若干の考察を加え報告する。